

平成30年度 千葉市精神障害者ソフトバレーボール大会 実施要領

1. 競技規則

全国障害者スポーツ大会競技規則平成30年度版((公財)日本障がい者スポーツ協会制定)に定める以外は、同年度の(公財)日本バレーボール協会競技規則(国際競技規則)及びこの要領に定めるところによるもののほか、参加団体代表者会議確認事項による。

2. チームの構成

- (1) 監督1名・コーチ1名・マネージャー1名及び選手12名以内とする。
- (2) 監督・コーチが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合の選手人数は、選手を兼ねる監督・コーチを含めて12名以内とする。
- (3) 男女混合でチームを構成する。試合中は少なくとも1名以上の女性プレイヤーが出場していなければならない。女性選手が出場不可能になった場合には、その時点でゲーム終了とし、不戦敗とする。
- (4) 複数施設からの合同チームの参加も可能とする。

3. 競技方法

- (1) 試合は、ワンボールシステムで行う。
- (2) 試合球は、日本ソフトバレーボール連盟公認球ソフトバレーボール球・糸巻きタイプ(モルテン製 S3V1500-W 円周78±1cm 重量210±10g)を使用する。
- (3) ネットの高さは2m24cmとする。
- (4) 全試合トーナメント方式とし、3位決定戦を実施する。

4. ルール

試合は、以下のとおり進行する。

ただし、(1)～(4)については、大会応募状況に基づき参加団体代表者会議において変更する場合がある。

- (1) 試合は3セットマッチとし、2セットを先取したチームを勝ちとする。
- (2) 1セット25点のラリーポイント制とする。
なお、得点が「24対24」の同点となった場合、それ以降は、2点リードしたチームがそのセットの勝者とする。
- (3) 第3セットは、25点制で行い、コートの変更はどちらかのチームが13点先取した時に行う。
- (4) 第3セットのコート変更は、いずれかのチームが13点先取したときに行う。

- (5) それぞれのチームには、1セットにつき最大2回のタイムアウト(1回30秒)が認められる。

- (6) 順位の決定について、勝敗が同率の場合、失ったセット数で決まらない場合は、チームの総得点と総失点の差で決定する。それでも決まらない場合は、コイントスで決める。
- (7) 試合は、原則プログラムに掲載したスケジュールどおり進行する。ただし、試合の進行状況によっては、追い込み方式とする場合がある（原則としてプロトコールは、前の試合終了後10分後に、連続出場となる試合は15分後とする）。

5. 服装

(1) 選手

- ① 胸部と背部の中央にナンバーが入っているユニフォームを着用すること。
- ② チームキャプテンは、胸のナンバーの下にマーク（横線8cm×2cm）を付けること。
- ③ リベロ・プレーヤーはチームの他の競技者と区別できる色のユニフォームを着用しなければならない。

(2) 監督・コーチ・マネージャー

それぞれ左胸にワッペンを付けなければならない。

6. 組み合わせ

参加団体代表者会議において参加団体による抽選の上で決定する。

ただし、前年大会の優勝・準優勝チームは、シード枠に配置する。

7. 登録確認・選手変更

- (1) 参加団体は、大会当日、来場時に速やかに「コンポジションメンバー表」を大会本部に提出しなければならない。
- (2) 選手変更は、参加団体代表者会議以降は認めない。ただし、やむを得ない事情により変更が必要となる場合は、来場時に速やかに「登録選手変更届」を大会本部に提出し、監督会議での承認をもって変更を決定する。

8. 招集・競技に係る提出書類

- (1) 各チームは、試合開始時刻の15分前に所定の場所で待機すること。
- (2) 競技にあたり次の書類を作成し提出すること。
 - ①コンポジションシート
プロトコール時に副審に提出すること。
 - ②スターティング・ライン・アップ・シート
各セットが始まる前に記入し、副審に提出すること。

9. 開会式・閉会式・監督会議

- (1) 開会式は、第1試合開始前に行う。
- (2) 表彰式は、競技終了後に閉会式を兼ねてメインアリーナで行う。
- (3) 監督会議は、大会当日に大会本部前で行う。開始時間は別途連絡する。
また、監督会議において申し合わせ事項を設けることができる。

10. 競技場内への入場制限

- (1) 競技場内（各アリーナ）への入場については、選手、監督、コーチ、マネージャー等、主催者に事前に登録を申請し、許可された者以外は入場することはできない。
ただし、サブアリーナにおける応援席を除く。
- (2) 応援席（メインアリーナスタンド及びサブアリーナ応援席）以外へのカメラ等撮影機材の持ち込みと撮影は禁止する。

11. その他

- (1) 大会当日の練習は、定められた場所で安全に留意し、大会役員の指示に従って行うこと。
- (2) 練習球は、各チームで用意すること。
- (3) ゴミは必ず持ち帰ること。

参 考

【競技規則購入先】

「全国障害者スポーツ大会競技規則平成30年度版」

(公財) 日本障がい者スポーツ協会 <http://www.jsad.or.jp/training/order.html>

「(公財) 日本バレーボール協会競技規則 (6人制)」

(公財) 日本バレーボール協会 <https://www.jva.or.jp/play/rulebook.html>